

令和3年7月21日

報道関係 各位

名古屋市立大学事務局大学管理部教務企画室
室長 森川 英俊 電話：052-872-5801

名古屋市立大学×名古屋市教育委員会 高大連携企画
『NCU グレイド・スキップ・チャレンジ 2021』
開催のお知らせ

名古屋市立大学では、名古屋市教育委員会との高大連携事業の一環として、「NCU グレイド・スキップ・チャレンジ 2021」を開催いたします。

これは、市立高校の生徒が、夏季休業期間の4～5日間だけ高校から大学に飛び級(Grade Skip)して、本学**人文社会学部、経済学部、看護学部、芸術工学部**の実施する講座に参加し、大学水準の調査・研究活動を体験する企画です。

名古屋市立の8校(向陽、菊里、桜台、北、名東、中央、名商、工芸)から合計48名の生徒が参加予定です。

この企画を広く知っていただきたくご案内しますとともに、是非ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 場 所** : 名古屋市立大学 滝子キャンパス、桜山キャンパス、北千種キャンパス
※講座によっては学外で調査活動等を行う場合もあります。場所の詳細につきましては、取材のお申し込みをいただいた後にお伝えいたします。
- 2 講座・日程等** : 別添「講座一覧」のとおり。
- 3 取材の申込** : 別添「取材申込書」をファックスにてお送りください。
※取材希望日の2日前(土日祝日を除く)までにご連絡をお願いいたします。
- 4 問い合わせ先** : 名古屋市立大学事務局教務企画室 尾関
TEL : 052-872-5807
MAIL : kyoumu_kikaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

宛先：名古屋市立大学事務局教務企画室【FAX：052-872-1531】

日付：令和3年 月 日

NCU グレイド・スキップ・チャレンジ2021 取材申込書

貴社名 _____

TEL： _____ (※当日連絡が取れる番号)

FAX： _____

取材希望日と講座名 _____ 月 日の _____ 講座

※当日取材される（予定でも可）方の氏名と、該当する箇所に○印をご記入ください。

ふりがな 取材者 氏名	
1.	記者 カメラ その他
2.	記者 カメラ その他
3.	記者 カメラ その他
4.	記者 カメラ その他
備考	

令和3年度(2021年度)

『グレイド・スキップ・チャレンジ』 開講講座一覧

1 全講座合同講義・ガイダンス(8月16日(月))

2 実施予定講座一覧

No.	学部	実施日	タイトル	内容	参加人数	講師・職名
1	看護	8月18日、19日	看護師・保健師の活動を実践的に学ぶ～がん検診の受診率向上のための方策～	<p>日本におけるがんの現状とそれに対する保健医療対策を概説し、看護の対象となる人々が健康的な保健行動をとれるよう支援するための看護活動を実践的に学ぶ。具体的なねらいは以下の通りである。*SDGs 3・4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師と保健師の活動の場や対象、方法を理解する ・保健行動に影響を与える要因と保健行動の変容に関わる理論を理解する ・乳がんの実態とそれに対する保健医療対策を理解する ・がん検診の受診率向上のための方策を調査や文献等から検討し、健康教育を企画・実践する 	高校生13名	縦野香苗 准教授 尾崎伊都子 准教授
2	経済	8月25日、26日	特別セミナーV～ビジネスゲームの実践～	<p>本セミナーは、ビジネスゲームの実践を通じ、経営者に求められる「強い意思」、「意思決定を行う勇氣」、「インサイト(ロジカルシンキングにとらわれた状況を正す洞察・発想)」、「しつこさ(考えるしつこさ、実行するしつこさ)」、「ソフトな統率力(ゲームをチームで行う場合に)」の意義を確認する体験を提供する。グレイド・スキップ・チャレンジの狙いであるSDGsに関する知識習得との連動は、ゲーム振</p>	高校生12名、教員1名	鵜飼宏成 教授

				<p>り返り時の「大きな問題(制約条件)」として設定し、ゲームを通じて得た教訓を応用し、どのように対策を講じるかを検討させる。加えて、SDGs は、企業経営にとり「大きな問題(制約条件)」なのか「飛躍のチャンス」なのか？今回のグレイド・スキップ・チャレンジでは、このような「問」を持ってSDGs に配慮した企業訪問を行い、実態の分析を通じ、ビジネスゲームのルール自体を SDGs バージョンへと変更し、新生ビジネスゲームに挑戦する。なお、企業訪問の際は、地下鉄一日乗車券を購入いただくこととなります(交通費は個人負担)。</p>		
3	人文社会	8月23日、24日	<p>子どもにとって遊びとは？ -非認知能力を高める保育-</p>	<p>今、教育において「主体的・対話的で深い学び」が注目されている。この学びを育てている土台は幼児期の教育である。日々の遊びの中でどのような育ちがあるのかに着目し、実際の保育現場を訪問し、子どもの遊びの様子を観察する。そのデータの分析を進め、「SDGs4質の高い教育をみんなにについて」の視点から考察する。(公共交通機関を使用するため、交通費を負担していただきます。)</p>	高校生6名	上田敏文 教授
4		8月18日、19日	まちづくり論	<p>教養教育科目・集中講義「まちづくり論」に高校生5名程度が参加し、SDGs とまちづくりの関わりについて学ぶとともに、その成果をプレゼンテーションする。その際、SDGs の 11 番目の目標をはじめ、各目標との関連も意識する。</p>	高校生4名	三浦哲司 准教授

5		8月23日、24日	プラスチックゴミの削減策を考える	使い捨てプラスチックを減らす方法を考えます。具体的にはワンウェイ・プラスチックの確実な回収を実現する公共政策とプラスチックにかわる素材を利用したアイテム開発(試作)を行います。SDGsの目標12, 目標14に主に関係したテーマです。	高校生5名	伊藤恭彦 教授
6	芸術工学部	8月18日、19日、20日	映像制作	SDGsをテーマにした短編映像制作体験	高校生8名	栗原康行 教授

3 合同発表会 (9/26 (日))

参加生徒保護者の方や参加高校の先生方も参加可能とする予定。